

音楽アーティスト科 ベースコース 受講科目一覧 1年次

ベース総合専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養 I	74	2	4
講義	音楽理論/調音 I	74	2	4
講義	音楽史 I	74	2	4
講義	作曲編曲 I	74	2	4
講義	表現 I	74	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術 I	74	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術 I	74	2	2
実習	歌唱/演奏実技 I	74	2	2
実習	分野別実習 I	74	2	2
演習	アンサンブル基礎 I	74	2	4
演習	アンサンブル応用 I	148	4	8
合計		888	24	40

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>社会人として、またエンターテインメント業界を目指す人材として、業界内で必要なコミュニケーション力を身に付けるための授業を行います。コミュニケーション力だけでなく、教養力の深みが芸術創作において多大な影響を与えていくことを把握させ、知識量の増強を図ります。また、一社会人としても人間開発が行えるように広汎な情報を提供します。</p>					
到達目標					
<p>社会人として必須条件である一般教養を身につけ、デビューや就職へ向けた準備を万全にしていきます。 将来どのような職業につくにしても人文科学、自然科学、社会科学の三分野の知識を隔たりなく、幅広く修得することが大事だという前提に立って、教養を学んで、自ら問題設定して新しい答えを探ることができるようにします。 また、知識量を効率化し自分に役立つものだけを取捨選択するといった、幅の狭い世界に陥らないような人材を目指します。 併せて、アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識や情報の提供を行っていきます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	一般教養についての概略を把握し、教養力の重要性を説きます。また健全な生活リズムの大切さをバイオリズムの仕組みなどを通して理解し、栄養学では食べ物と健康維持の関連性に触れながら安定的な生活を送る上での重要なポイントを学習します。
【前期】 5～8回目	IT技術を通してSNSの長短をはじめとした情報へのリテラシーを学習します。また敬語を通して社会の中でいかに丁寧なコミュニケーションをはかれるかを例題を通して把握していきます。挨拶についてもケーススタディを通して学びます。
【前期】 9～12回目	プロフェッショナルの定義を通して自らの商品性をエンタテインメント産業においてプロモーションしていく重要性を考えます。各メディア(レコード会社、レーベル、プロダクション(事務所)、音楽出版社)の違いなども認知し、自らにおける将来像の在り方も探っていきます。
【前期】 13～16回目	エンタテインメント産業の構造を理解しながらデビューや自己PRの方法論を解説していくと同時にイベント出演などの方法、また、打合せや企画書制作、プロット制作などを含むステージ作りの具体的なアプローチも学習します。
【前期】 17～19回目	会社構造への理解を深めながら特に会社組織の成り立ちを学びます。その中で礼節に着目し、対人対応の基本である身だしなみ、お辞儀、立ち振る舞いなどを理解していきます。また、社会人として席次や名刺交換のルールにも触れていきます。 ■前期試験:筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	世界共通語の英語、特に会話に重点を置き日本語圏以外でのコミュニケーション能力のアップをはかります。また、世界地理への知識量を上げながら国外の風土や文化面などの特色も学んでいきます。
【後期】 24～27回目	日本語に着目し、漢字、ことわざ、四字熟語の読解及び使い方など、また現代文を通しては読解力をはじめ文章構成や言葉の味わいを理解し、総合的に国語力を高めていきます。
【後期】 28～31回目	日本の歴史、古代から近世、現代に至るまで年代順に時代の特色を学び、我々の文化的背景を考察していきます。また日本の暦をはじめ歳時記などの四季の事物や年中行事なども理解していきます。
【後期】 32～35回目	音楽、写真、映像など創作物における、著作権者の権利を保護するために認められた権利関係を創作者と大衆視点の両面から理解していきます。また自分の顔や姿、宣材を無断で写真・WEBなどにコピーされたり、それを商業目的に使用されることを拒否する権利を学びます。
【後期】 36～37回目	人生哲学や人生訓に触れながら、いかに良く生きるかを考えていきます。そしてそれらをスピーチ原稿の書き方やスピーチ論を学ぶことを通して自らの生きがいや夢を掘り下げると同時に、他者へ自らの考えを主張する能力を開発する。 ■後期試験:筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	一般教養は、社会人としての必須条件であり、特に就職希望者にとっては大変重要な知識となります。アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	MR/ブレイング実習 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/アーティスト総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『sancrib(サンクリブ)』では楽曲のアレンジを担当。 制作した楽曲はNHK-FM『ミュージックライン』EDテーマ、Youtube『つぶらちゃんネル。』EDテーマ等に起用される。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、音楽理論力等」の指導を行う。				
授業概要					
一年間を通して、現代の音楽活動・制作に必要な、基本的音楽理論を学ぶ。また正確に楽譜を読み書きする能力と作曲の為の基礎知識を養います。					
到達目標					
様々なシチュエーションで使われる音楽理論。その理論を基本的な部分から理解し、現代音楽の現場で実際に使えるコミュニケーションのツールとして、自分の知識を形成する。また、関わる音楽を、より多角的・第三者的に捉えるための判断材料の一環として利用できるようになる。世の中にある様々な楽曲、サウンドを、土台の部分から理解し、その楽曲のエッセンスを自分の曲やシチュエーションで利用できるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音高・音名。シャープ系のメジャースケール。
【前期】 5～8回目	フラット系のメジャースケール。調号・キーサイン。インターバル。
【前期】 9～12回目	ダブルシャープ、ダブルフラット。インターバルの作成。トライアド。
【前期】 13～16回目	音符・休符。拍子・拍子記号。
【前期】 17～19回目	マイナースケール、同名調(同主調、パラレルキー) ■前期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	メジャースケールのハーモニー。マイナースケールのハーモニー。
【後期】 24～27回目	ダイアトニックセブンス・コード。キーセンター。コードの転回形。
【後期】 28～31回目	テンションコード。コードのヴァリエーション。コードシンボル。
【後期】 32～35回目	モード。マイナーハーモニーとそのバリエーション。
【後期】 36～37回目	モーダルインターチェンジ。セカンダリー・ドミナント。 ■後期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一見めんどくさいと思われがちな科目ですが、基本が分かれば意外と簡単です。深く潜りすぎない、必要最低限な項目をチョイスしたので、しっかり理解して皆さんの音楽に役立ててください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムの歴史と体系		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカラー福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、音楽理論等」の指導を行う。				
授業概要					
音楽の三大要素であるリズムを理解し、小節や指の概念を理解する。リズムに関する記号や音符を理解する。ロック/ブルース/ジャズ/ファンク/レゲイ/フュージョン/メタル他、ルーツミュージックなどをスタイル別に、また世界的スタンダードナンバーの持つリズムの歴史が後世に与えたインパクトなどを知識として理解していきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な音楽のリズム、グルーヴに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになる。 ・バンドでのテンポキープやサウンドコントロールに磨きをかける。 ・誰と演奏してもぶれないリズム、グルーヴを身につける。 ・譜面に出てくる色々な記号を理解する。 ・譜面を読むスピードが速くなるよう初見に強くなる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Unit1～4 カウント、ブルースの練習、リハーサルマーク、8ビートリズムパターン確認、ダイナミクス、シンコペーション。
【前期】 5～8回目	Unit5～8 Pick up Note、スタート練習、キュー確認、マイナーブルース、様々なリズム遊び。
【前期】 9～12回目	Unit9～12 セクション、リハーサルマーク、リピートマーク、カッコ、ダカーポ、ハーフタイム。
【前期】 13～16回目	Unit13～16 ロックシャッフル、スウィングシャッフル、ウォーキングベースに挑戦する。
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Unit17～19 12/8フィール系リズム、ダイナミクスの表現、Funkスタイル演奏
【後期】 24～27回目	Unit20～23 16ビートのブラックフィール、ラテンフィール、Funk演奏
【後期】 28～31回目	Unit24～27 ファンキーなR&Bスタイル、はねた16ビートパターン、レゲエ、スカ演奏
【後期】 32～35回目	Unit28～30ボサノヴァ、セカンドライン、現場をイメージして演奏
【後期】 36～37回目	【後期まとめ】後期の内容を復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / サウンド / テクニック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世界の様々な音楽のリズム、グルーブに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになりましょう。 バンドのテンポキープやサウンドコントロールにも磨きをかけるよう心がけましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リーディング/ライティングH&T I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	作曲編曲 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「作曲編曲」の指導を行う。				
授業概要					
譜面が読め、それをその場で弾く事ができるようになる技術や、知識を習得します。リズムとピッチの基礎的なリーディングからスケールフォーム、ダイアトニックアルペジオ、アーティキュレーション、チャートリーディング、コードリーディングを経てコンテンポラリーな楽曲を、実践的にサイトリーディングしていきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・音符を読めるようになる。 ・リズムに関する記号や音符の意味を理解する。 ・状況に応じて自在にベースラインを作り出すことができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	五線譜や音符の理解、Cメジャー、Gメジャースケールを覚える。
【前期】 5～8回目	Fメジャー、Dメジャースケールを覚え1stポジションを使ったエクササイズをする。
【前期】 9～12回目	b 5、m7を意識してブルーノートスケールを使ったフィンガリングを覚える。
【前期】 13～16回目	前期テスト
【前期】 17～19回目	前期まとめ ■前期試験: 楽譜の読み書きや演奏にて「音符 / リズム / 記号」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Eメジャー、A bメジャースケールを使ったエクササイズ、譜面上で使う記号を覚える。
【後期】 24～27回目	マイナーkeyの理解。ダイアトニックコードとダイアトニックスケールの確認。
【後期】 28～31回目	ダイアトニックスケールを使ったエクササイズをする
【後期】 32～35回目	後期テスト
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験: 楽譜の読み書きや演奏にて「音符 / リズム / 記号」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「音符 / リズム / 記号」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音符やリズムを読んだり、スケールや記号など覚える事が多い科目ですが、譜面を読み、理解し、演奏できる力は将来ミュージシャンとして活動する上でとても重要なものになります。
備考	使用教科書「リズム&リーディング」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース&ドラム I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『sancrib(サンクリブ)』では楽曲のアレンジを担当。 制作した楽曲はNHK-FM『ミュージックライン』EDテーマ、Youtube『つぶらちゃんネル。』EDテーマ等に起用される。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「表現」の指導を行う。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシストが現場で要求される様々なシチュエーションを想定して、リズム隊の演奏バリエーションを深めていきます。 ・ドラマーとのコンビネーション、コミュニケーションを高めるメソッドを学習します。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・小節や拍、ナチュラルサイクルを理解し、現場での対応力を身につけます。 ・ベースとドラムで歌がきこえるような演奏を目指します。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲①、課題曲②8分音符を意識して演奏。
【前期】 5～8回目	課題曲③、課題曲④16分音符を意識して、突っ込んでないか確認。
【前期】 9～12回目	課題曲⑤、課題曲⑥前ノリ、後ノリを理解し、フィルを考えてみよう。
【前期】 13～16回目	課題曲⑦、課題曲⑧ハーフタイムシャッフル、音価を大切に弾こう。
【前期】 17～19回目	課題曲⑨、課題曲⑩ノリの良いアップテンポナンバー。テンポキープして弾こう。 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲⑪、課題曲⑫アップテンポナンバーでのスラップ、ゴーストノートの位置を変えてみよう。
【後期】 24～27回目	課題曲⑬、課題曲⑭タメ、9th、シンコペーションを上手く使用して演奏しよう。
【後期】 28～31回目	課題曲⑮、課題曲⑯歌っているベースラインにドラムが溶け込む演奏をしよう。
【後期】 32～35回目	課題曲⑰、課題曲⑱はねたビートのキメが何度もくるので、AメロBメロで振り落とされないように演奏する。
【後期】 36～37回目	課題曲⑲、課題曲⑳コーラスパートをベースで演奏し、音符の長さ、音価、ドラムとのバランスに気を付けて、ラスサビのキメをしっかりとめるように演奏する。 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / サウンド / テクニック/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	この授業はバンドの要であるベースとドラムで8ビート、16ビート、ハーフタイムシャッフル、スウィング等の様々なスタイルの演奏をして、互いのコミュニケーションを高め現場に活かすための授業です。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プレイングテクニックⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・姫野達也(TULIP)、小柳ルミ子等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、表現力等」の指導を行う。				
授業概要					
基本的な右手の演奏技法の習得(ツーフINGER、スラップ、ピック)。正しい左手のポジショニングによる効率的な演奏法の習得。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ベースという楽器の役割を理解しながら、必要な知識と技術を習得し実際の演奏に生かせるようになる。 ・勘や偶然に頼らずに自分の頭で考えた演奏が出来るようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・楽器の構造について、右手と左手のフォーム ・フィンガートレーニング 弦移動を含むエクササイズ
【前期】 5～8回目	・ピック弾きの方法及び練習 ・メカニカルトレーニング、ピッキングと運指の練習。指番号を使ったエクササイズ。
【前期】 9～12回目	・リズムについて グルーヴ 7週目 グルーヴ パルス、テンポ、フィールのエクササイズ
【前期】 13～16回目	・音符の種類と長さについて ・アタックと音の長さ 音価について ・オモテとウラのイーブンについて
【前期】 17～19回目	・クリックを意識したトレーニング ・シフティングとアーティキュレーションについて ■前期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度 / 独自性」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	・左手のテクニックについて
【後期】 24～27回目	・スラップ奏法の練習 ・コード奏法について
【後期】 28～31回目	・ハーモニクス、タッピングその他の特殊な奏法について
【後期】 32～35回目	・コード奏法 応用編
【後期】 36～37回目	・変拍子のリズムとその有名なパターン ■後期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度 / 独自性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技量 / 理解度 / 独自性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の力を信じて思い切りチャレンジしてください。失敗を恐れずに。楽器を弾いた時間だけ音楽も応えてくれるはず。
備考	使用教科書「プレイングテクニック1」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	フレットボード&スケール I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『sancrib(サンクリブ)』では楽曲のアレンジを担当。 制作した楽曲はNHK-FM『ミュージックライン』EDテーマ、Youtube『つぶらちゃんネル。』EDテーマ等に起用される。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術」の指導を行う。				
授業概要					
スケール、コードトーンの理解と、指板との紐付けを理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・机上で学んだ理論を実際の演奏に活かすために、楽器で確認し応用できる力を身につける。 ・コード譜を見ての様々な解釈ができるようになる。 ・コード譜のみで演奏できる技術を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ポジションプレイの考え方 メジャースケール、マイナースケール。音程について。指板上の音の配置。
【前期】 5～8回目	三和音の説明、メジャーコードマイナーコードについて。ダイアトニックトライアド。
【前期】 9～12回目	四和音の説明。セブンスコード、ダイアトニック。セブンスコードのアルペジオ。
【前期】 13～16回目	マイナーキーのダイアトニックについてマイナーキーのダイアトニックコードのアルペジオ。
【前期】 17～19回目	ダイアトニックコード進行、コードのファンクションについて。 ■前期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	ブルース進行、セブンスコードを使ったブルージーなコード、ジャズブルースのコード。
【後期】 24～27回目	ノンダイアトニックコードについて。モーダルインターチェンジ、セカンダリドミナントなど。
【後期】 28～31回目	キーセンター及び転調について。
【後期】 32～35回目	その他のスケール、応用。考え方、トレーニング。
【後期】 36～37回目	コードとそれに関連したスケールについて。 ■後期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技量 / 理解度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	理論を実際の演奏に活かすために、楽器で確認し応用できる力を身につけることを目的としています。 この技術を習得すると、ただ単に楽曲をコピーするだけでなく、自分でアレンジできるようになります。 また、オリジナル楽曲の制作にも必ず役に立つはずですよ。
備考	使用教科書「フレットボード1」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベーススタイル I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「歌唱/演奏実技」の指導を行う。				
授業概要					
様々な音楽スタイル(JAZZ/BLUES/POP/R&B/FUNK/HR等)に含まれるリズム感、グルーブ感、抑揚などを自然に体で表現できるように自らの演奏へ取り込んでいきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルのベースプレイ、特にリズムの特徴などにフォーカスし学習する。代表的なアーティスト、楽曲を知り、題材のフレーズを実際に演奏し自身のスキルアップに繋げ、代表的なアーティスト、楽曲を知ることにより各音楽ジャンルの特徴を理解する。 ・各ジャンルのノリやグルーブを表現できる演奏を目指す。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Deep Purple等)【Punk】ジャンルの考察とフレーズ練習(Sex Pistols等)【Alternative/Grunge】ジャンルの考察とフレーズ練習(Nirvana等)
【前期】 5～8回目	【Alternative/Mixture Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Red Hot Chili Peppers等)【Hard Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Guns N' Roses等)【Metal】ジャンルの考察とフレーズ練習(Metallica等)【Funk】ジャンルの考察とフレーズ練習(James Brown等)
【前期】 9～12回目	【Funk2】ジャンルの考察とフレーズ練習(Wild Cherry等)【Blues】ジャンルの考察とフレーズ練習(B.B.King等)
【前期】 13～16回目	テストレビュー/前期テスト/【Jazz】ジャズブルース進行
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「演奏力 / 知識力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【Ska】ジャンルの考察とフレーズ練習(The Skatalites等)【Raggae】ジャンルの考察とフレーズ練習(Bob Marley等)【Jazz】ジャンルの考察とフレーズ練習(sunny等)
【後期】 24～27回目	【Bossa Nova】ジャンルの考察とフレーズ練習(イパネマの娘等)【Soul】ジャンルの考察とフレーズ練習(Marvin Gaye等)
【後期】 28～31回目	【Smooth Jazz】ジャンルの考察とフレーズ練習(Paul Jackson Jr.等)【Jazz/Fusion】ジャンルの考察とフレーズ練習(Larry Carlton等) / 後期まとめ
【後期】 32～35回目	【Jazz/Fusion】ジャンルの考察とフレーズ練習(Pat Metheny等) / テストレビュー/後期テスト
【後期】 36～37回目	スライドバー/年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「演奏力 / 知識力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力 / 知識力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業は、様々なジャンルの音楽に触れ実際に演奏することで、自身の演奏・音楽的知識、可能性の幅をどんどん広げていきます。スキルアップはもちろん、今まで知らなかったジャンルを身につけることで自身の活動での演奏、作曲、アレンジにも役立つでしょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムリーディングワークアウト I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・JUON, MACO, TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello, The Baker Brothers, US3等様々なアーティストとの共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術・アンサンブル力」の指導を行う 				
授業概要					
音楽の三大要素の1つである「リズム」を理解し、小節や運指の概念を理解する。またリズムに関する記号や音符を理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な音楽のリズム、グループに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになる。 ・バンドでのテンポキープやサウンドコントロールに磨きをかける。 ・誰と演奏してもぶれないリズム、グループを身につける。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Unit1～4 カウント、ブルースの練習、リハーサルマーク、8ビートリズムパターン確認、ダイナミクス、シンコペーション。
【前期】 5～8回目	Unit5～8 Pick up Note、スタート練習、キュー確認、マイナーブルース、様々なリズム遊び。
【前期】 9～12回目	Unit9～12 セクション、リハーサルマーク、リピートマーク、カッコ、ダカーポ、ハーフタイム。
【前期】 13～16回目	Unit13～16 ロックシャッフル、スウィングシャッフル、ウォーキングベースに挑戦する。
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Unit17～19 12/8フィール系リズム、ダイナミクスの表現、Funkスタイル演奏
【後期】 24～27回目	Unit20～23 16ビートのブラックフィール、ラテンフィール、Funk演奏
【後期】 28～31回目	Unit24～27 ファンキーなR&Bスタイル、はねた16ビートパターン、レゲエ、スカ演奏
【後期】 32～35回目	Unit28～30ボサノヴァ、セカンドライン、現場をイメージして演奏
【後期】 36～37回目	【後期まとめ】後期の内容を復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / サウンド / テクニック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世界の様々な音楽のリズム、グループに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになりましょう。 バンドのテンポキープやサウンドコントロールにも磨きをかけるよう心がけましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習 I / ライブパフォーマンス実習 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力」の指導を行う。				
授業概要					
人前でライブやコンサートをするために必要な奏法・表現力を高め、ステージマンとしての力をつけます。アンサンブルに必要な知識と技術、また優れたライブパフォーマンスの実現を目指す授業です。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・バンド全体のサウンドを意識した演奏を習得する。 ・課題曲に内包されているテクニックやリズムグループパターンを自らのうちに着実に取り込み表現できるようにする。 ・ショーとして成り立たせるためのパフォーマンスができるようになる。 ・学んだこと、考えたことを人前で披露できる力を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【課題曲①】8ビートのルート弾きの音の粒を揃える。ユニゾンフレーズの際他のメンバーと息を合わせるために、自分以外の音を聞く事を心がける。2、4拍目に合わせて体を揺らす。
【前期】 9～16回目	【課題曲②】シャッフルのリズムに慣れる。ドラムの音をしっかりと聴いて音を切るタイミングを考える。Aメロ、Bメロ、サビの音符の長さの違いに気をつける。エンディングの長さを見失わないように、ナチュラルサイクルを意識する。
【前期】 17～24回目	【課題曲③】16ビートのフレーズは勢いで弾くのではなく、しっかり弦を揺らす事を意識する。最後のサビのritするところはメンバーの呼吸を読み取り演奏する。アウトロのベースが目立つフレーズの箇所ではどうアピールするか考える。
【前期】 25～32回目	【課題曲④】Aメロのベースラインはボーカルに寄り添うように、決して自分勝手なプレイにならないように心がける。セクション毎の場面展開をハッキリとさせ、曲にダイナミクスを付ける。演奏中の視線、体の動きなどステージングを意識する。
【前期】 33～38回目	前期テストと復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / ダイナミクス / ステージング」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	【課題曲⑤】セクション毎に変わるリズムの変化に気をつける。ブレイクの部分の音の長さや意識して演奏する。又、視覚的効果も取り入れてみる。
【後期】 47～54回目	【課題曲⑥】ゆったりとしたテンポの楽曲だが、細かいリズムを体感して演奏する。3連のフレーズはピッキングする指が交互になるので、あらかじめ確認してもたつかないようにする。
【後期】 55～62回目	【課題曲⑦】Bメロのスラップフレーズは何拍目にブルが来ているのかしっかり把握しておく。エンディングはロストしやすい構成になっているので、小説数を数えるだけではなくメロディラインを歌えるくらい覚える。ベースソロ時のパフォーマンスを考える。
【後期】 63～70回目	【課題曲⑧】A、Bメロのダークさに打って変ってサビでは一転明るい雰囲気になる。その時のダイナミクスや、その他の表現方法に注意して演奏する。ユニゾンフレーズは自分と相手の呼吸を合わせて演奏する。
【後期】 71～74回目	後期テストと復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / ダイナミクス / ステージング」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / ダイナミクス / ステージング」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	上手に演奏するという事は、表現したいことを再現するために必要な要素ですが、この授業ではその他の重要な要素でもある「ステージング」のことも学んでいきます。ライブを見に来てくれたお客さんに満足してもらうにはどうしたらいいか常に考える思考回路を身につけましょう。
備考	

音楽アーティスト科 ベースコース 受講科目一覧 1年次

ベース&クリエイター専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養 I	74	2	4
講義	音楽理論/調音 I	74	2	4
講義	音楽史 I	74	2	4
講義	作曲編曲 I	74	2	4
講義	表現 I	74	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術 I	74	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術 I	74	2	2
実習	歌唱/演奏実技 I	74	2	2
実習	分野別実習 I	74	2	2
演習	アンサンブル基礎 I	74	2	4
演習	アンサンブル応用 I	148	4	8
合計		888	24	40

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>社会人として、またエンターテインメント業界を目指す人材として、業界内で必要なコミュニケーション力を身に付けるための授業を行います。コミュニケーション力だけでなく、教養力の深みが芸術創作において多大な影響を与えていくことを把握させ、知識量の増強を図ります。また、一社会人としても人間開発が行えるように広汎な情報を提供します。</p>					
到達目標					
<p>社会人として必須条件である一般教養を身につけ、デビューや就職へ向けた準備を万全にしていきます。 将来どのような職業につくにしても人文科学、自然科学、社会科学の三分野の知識を隔たりなく、幅広く修得することが大事だという前提に立って、教養を学んで、自ら問題設定して新しい答えを探ることができるようにします。 また、知識量を効率化し自分に役立つものだけを取捨選択するといった、幅の狭い世界に陥らないような人材を目指します。 併せて、アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識や情報の提供を行っていきます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	一般教養についての概略を把握し、教養力の重要性を説きます。また健全な生活リズムの大切さをバイオリズムの仕組みなどを通して理解し、栄養学では食べ物と健康維持の関連性に触れながら安定的な生活を送る上での重要なポイントを学習します。
【前期】 5～8回目	IT技術を通してSNSの長短をはじめとした情報へのリテラシーを学習します。また敬語を通して社会の中でいかに丁寧なコミュニケーションをはかれるかを例題を通して把握していきます。挨拶についてもケーススタディーを通して学びます。
【前期】 9～12回目	プロフェッショナルの定義を通して自らの商品性をエンタテインメント産業においてプロモーションしていく重要性を考えます。各メディア(レコード会社、レーベル、プロダクション(事務所)、音楽出版社)の違いなども認知し、自らにおける将来像の在り方も探っていきます。
【前期】 13～16回目	エンタテインメント産業の構造を理解しながらデビューや自己PRの方法論を解説していくと同時にイベント出演などの方法、また、打合せや企画書制作、プロット制作などを含むステージ作りの具体的なアプローチも学習します。
【前期】 17～19回目	会社構造への理解を深めながら特に会社組織の成り立ちを学びます。その中で礼節に着目し、対人対応の基本である身だしなみ、お辞儀、立ち振る舞いなどを理解していきます。また、社会人として席次や名刺交換のルールにも触れていきます。 ■前期試験:筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	世界共通語の英語、特に会話に重点を置き日本語圏以外でのコミュニケーション能力のアップをはかります。また、世界地理への知識量を増やしながら国外の風土や文化面などの特色も学んでいきます。
【後期】 24～27回目	日本語に着目し、漢字、ことわざ、四字熟語の読解及び使い方など、また現代文を通しては読解力をはじめ文章構成や言葉の味わいを理解し、総合的に国語力を高めていきます。
【後期】 28～31回目	日本の歴史、古代から近世、現代に至るまで年代順に時代の特色を学び、我々の文化的背景を考察していきます。また日本の暦をはじめ歳時記などの四季の事物や年中行事なども理解していきます。
【後期】 32～35回目	音楽、写真、映像など創作物における、著作権者の権利を保護するために認められた権利関係を創作者と大衆視点の両面から理解していきます。また自分の顔や姿、宣材を無断で写真・WEBなどにコピーされたり、それを商業目的に使用されることを拒否する権利を学びます。
【後期】 36～37回目	人生哲学や人生訓に触れながら、いかに良く生きるかを考えていきます。そしてそれらをスピーチ原稿の書き方やスピーチ論を学ぶことを通して自らの生きがいや夢を掘り下げると同時に、他者へ自らの考えを主張する能力を開発する。 ■後期試験:筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	一般教養は、社会人としての必須条件であり、特に就職希望者にとっては大変重要な知識となります。アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	コンピューターレコーディング I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論 調音 I		年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	福岡のレコーディングスタジオにおいて長年エンジニアとして在籍の後、現在はフリーランスとしてスタジオレコーディングやライブレコーディングを担当。また、PAオペレート業務、楽器屋音響機器のメンテナンスなども行う。				
授業概要					
楽器奏者が必要なレコーディングの技術と知識を身につけます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・マイキングやインターフェースの調整など、レコーディングに必要な機材の基礎知識を身に付ける ・レコーディング時のPCでのDAWオペレーションを理解し実践出来るようになる。 ・レコーディングした音源をエディット、ミックスで調整出来るようになる。 ・楽曲に対して録音が出来ようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディングの基礎知識、機材や備品の使用方法について
【前期】 5～8回目	インターフェースやDAWの接続、録音について
【前期】 9～12回目	楽器の接続やマイキング、レコーディング
【前期】 13～16回目	レコーディングした音の確認、トラックやミキサーについて
【前期】 17～19回目	前期まとめ ■前期試験:楽器のレコーディング技術と知識の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	レコーディングした音のエディット方法、ミックス術
【後期】 24～27回目	楽曲に合わせてレコーディング
【後期】 28～31回目	ミックスダウンの進め方、手法について
【後期】 32～35回目	マスタリングの進め方について
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験:DAW上でのオペレーション技術と知識の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「読譜 / 記譜 / 演奏力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	昨今は楽器奏者が自身で自宅やスタジオでレコーディングする事が多くなっています。 レコーディング技術を身に付けて楽曲制作や将来レコーディングの依頼が来た時に役立てましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムの歴史と体系 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカラー福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、音楽理論等」の指導を行う。				
授業概要					
音楽の三大要素であるリズムを理解し、小節や指の概念を理解する。リズムに関する記号や音符を理解する。ロック/ブルース/ジャズ/ファンク/レゲイ/フュージョン/メタル他、ルーツミュージックなどをスタイル別に、また世界的スタンダードナンバーの持つリズムの歴史が後世に与えたインパクトなどを知識として理解していきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な音楽のリズム、グルーヴに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになる。 ・バンドでのテンポキープやサウンドコントロールに磨きをかける。 ・誰と演奏してもぶれないリズム、グルーヴを身につける。 ・譜面に出てくる色々な記号を理解する。 ・譜面を読むスピードが速くなるよう初見に強くなる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Unit1～4 カウント、ブルースの練習、リハーサルマーク、8ビートリズムパターン確認、ダイナミクス、シンコペーション。
【前期】 5～8回目	Unit5～8 Pick up Note、スタート練習、キュー確認、マイナーブルース、様々なリズム遊び。
【前期】 9～12回目	Unit9～12 セクション、リハーサルマーク、リピートマーク、カッコ、ダカーポ、ハーフタイム。
【前期】 13～16回目	Unit13～16 ロックシャッフル、スウィングシャッフル、ウォーキングベースに挑戦する。
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Unit17～19 12/8フィール系リズム、ダイナミクスの表現、Funkスタイル演奏
【後期】 24～27回目	Unit20～23 16ビートのブラックフィール、ラテンフィール、Funk演奏
【後期】 28～31回目	Unit24～27 ファンキーなR&Bスタイル、はねた16ビートパターン、レゲエ、スカ演奏
【後期】 32～35回目	Unit28～30ボサノヴァ、セカンドライン、現場をイメージして演奏
【後期】 36～37回目	【後期まとめ】後期の内容を復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / サウンド / テクニック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世界の様々な音楽のリズム、グルーブに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになりましょう。 バンドのテンポキープやサウンドコントロールにも磨きをかけるよう心がけましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リーディング/ライティングH&T I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	作曲編曲 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「作曲編曲」の指導を行う。				
授業概要					
譜面が読め、それをその場で弾く事ができるようになる技術や、知識を習得します。リズムとピッチの基礎的なリーディングからスケールフォーム、ダイアトニックアルペジオ、アーティキュレーション、チャートリーディング、コードリーディングを経てコンテンポラリーな楽曲を、実践的にサイトリーディングしていきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・音符を読めるようになる。 ・リズムに関する記号や音符の意味を理解する。 ・状況に応じて自在にベースラインを作り出すことができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	五線譜や音符の理解、Cメジャー、Gメジャースケールを覚える。
【前期】 5～8回目	Fメジャー、Dメジャースケールを覚え1stポジションを使ったエクササイズをする。
【前期】 9～12回目	b 5、m7を意識してブルーノートスケールを使ったフィンガリングを覚える。
【前期】 13～16回目	前期テスト
【前期】 17～19回目	前期まとめ ■前期試験: 楽譜の読み書きや演奏にて「音符 / リズム / 記号」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Eメジャー、A bメジャースケールを使ったエクササイズ、譜面上で使う記号を覚える。
【後期】 24～27回目	マイナーkeyの理解。ダイアトニックコードとダイアトニックスケールの確認。
【後期】 28～31回目	ダイアトニックスケールを使ったエクササイズをする
【後期】 32～35回目	後期テスト
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験: 楽譜の読み書きや演奏にて「音符 / リズム / 記号」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「音符 / リズム / 記号」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音符やリズムを読んだり、スケールや記号など覚える事が多い科目ですが、譜面を読み、理解し、演奏できる力は将来ミュージシャンとして活動する上でとても重要なものになります。
備考	使用教科書「リズム&リーディング」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DAW I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	表現 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインテュースデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。 2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「音楽理論、調音力等」の指導を行う。				
授業概要					
Logic Pro X等のDAWソフトを用いり基本操作及び楽曲制作の基礎知識を習得します。 PC(Mac)の操作を理解・習得します。 音源制作を行う手順を一から理解できるようにします。 プロジェクトや作曲を行っていく上で、どの様なアプローチで楽曲制作していくかを習得します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲制作を行う上での基礎的なDAWの操作の習得。 ・ドラムパターンやコードの打ち込み、そしてサンプル音源の使い方などを覚えて、スムーズな楽曲制作を習得。 ・生徒自身で作詞・作曲した作品を、DAWを用いて具体化することができる。 ・メロディ、リズム、ハーモニーを元とする基礎編曲の理解。 ・ドラム、ベース、ピアノ、ストリングスなどのMIDIノート打ち込みから、ギターやヴォーカルなどのオーディオRECに関するDAW全般の操作を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	logicの起動、終了、作成ファイルの管理/録音、デバイス設定/ステップ入力、リアルタイム入力、オーディオREC
【前期】 9～16回目	譜面の読み方/耳コピ曲を決める、前期までにこれを完成させる
【前期】 17～24回目	ドラム打ち込み(8ビート、16ビート、4つうち、フィル、クオンタイズ)/ドラム打ち込み(ドラマー、808kit、その他ドラム音色)/ベースの打ち込み(ルート、3th、5th、オクターブ奏法)
【前期】 25～32回目	ピアノの打ち込み(右手・左手のフォーム、ストラムとアルペジオ)/ギターの打ち込み(適正なポインティング、ピアノロール画面8va移動)
【前期】 33～38回目	シンセメロの打ち込み(メロディック、ポリフォニック、単音耳コピ)/ボーカル録音(入力レベル、パンチIN OUT)/パウンス、Googleドライブでファイルバックアップ ■前期試験:オリジナル楽曲の制作により「編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	ストリングスの使い方(アーティキュレーションの動かし方)(音色の種類、logic、コンタクト)/プラスの使い方(アーティキュレーションの動かし方)
【後期】 47～54回目	プラスの使い方(音色の種類、logic、コンタクト)/オートメーション(クレッシェンド、デクレッシェンド)/woodwindの使い方(特にフルート、sax)
【後期】 55～62回目	シンセの使い方(音の3要素、オシレーター)/シンセの使い方(フィルター、ADSR)/シンセの使い方(LFO、モノ、ポリ)
【後期】 63～70回目	オートメーション(ビルドアップの作り方)/サイドチェインの作り方
【後期】 71～74回目	コンプ・EQ・リバーブの使い方/ディレイ・コーラス・モジュレーションの使い方 ■後期試験:オリジナル楽曲の制作により「編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作詞・作曲は、音楽業界では中心になります。楽曲がなければ、レコーディンもできないし、ライブもできない、PAや照明などの業種も存在しなくなります。 アーティストは楽曲を作成し販売をする商売です。その為に必要なノウハウをDAWを使って勉強していきます。
備考	参考書「Logic Pro X 10.2 徹底操作ガイド」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プレイングテクニックⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・姫野達也(TULIP)、小柳ルミ子等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、表現力等」の指導を行う。				
授業概要					
基本的な右手の演奏技法の習得(ツーフINGER、スラップ、ピック)。正しい左手のポジショニングによる効率的な演奏法の習得。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ベースという楽器の役割を理解しながら、必要な知識と技術を習得し実際の演奏に生かせるようになる。 ・勘や偶然に頼らずに自分の頭で考えた演奏が出来るようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・楽器の構造について、右手と左手のフォーム ・フィンガートレーニング 弦移動を含むエクササイズ
【前期】 5～8回目	・ピック弾きの方法及び練習 ・メカニカルトレーニング、ピッキングと運指の練習。指番号を使ったエクササイズ。
【前期】 9～12回目	・リズムについて グルーヴ 7週目 グルーヴ パルス、テンポ、フィールのエクササイズ
【前期】 13～16回目	・音符の種類と長さについて ・アタックと音の長さ 音価について ・オモテとウラのイーブンについて
【前期】 17～19回目	・クリックを意識したトレーニング ・シフティングとアーティキュレーションについて ■前期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度 / 独自性」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	・左手のテクニックについて
【後期】 24～27回目	・スラップ奏法の練習 ・コード奏法について
【後期】 28～31回目	・ハーモニクス、タッピングその他の特殊な奏法について
【後期】 32～35回目	・コード奏法 応用編
【後期】 36～37回目	・変拍子のリズムとその有名なパターン ■後期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度 / 独自性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技量 / 理解度 / 独自性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の力を信じて思い切りチャレンジしてください。失敗を恐れずに。楽器を弾いた時間だけ音楽も応えてくれるはず。
備考	使用教科書「プレイングテクニック1」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	フレットボード&スケール I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『sancrib(サンクリブ)』では楽曲のアレンジを担当。 制作した楽曲はNHK-FM『ミュージックライン』EDテーマ、Youtube『つぶらちゃんネル。』EDテーマ等に起用される。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術」の指導を行う。				
授業概要					
スケール、コードトーンの理解と、指板との紐付けを理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・机上で学んだ理論を実際の演奏に活かすために、楽器で確認し応用できる力を身につける。 ・コード譜を見ての様々な解釈ができるようになる。 ・コード譜のみで演奏できる技術を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ポジションプレイの考え方 メジャースケール、マイナースケール。音程について。指板上の音の配置。
【前期】 5～8回目	三和音の説明、メジャーコードマイナーコードについて。ダイアトニックトライアド。
【前期】 9～12回目	四和音の説明。セブンスコード、ダイアトニック。セブンスコードのアルペジオ。
【前期】 13～16回目	マイナーキーのダイアトニックについてマイナーキーのダイアトニックコードのアルペジオ。
【前期】 17～19回目	ダイアトニックコード進行、コードのファンクションについて。 ■前期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	ブルース進行、セブンスコードを使ったブルージーなコード、ジャズブルースのコード。
【後期】 24～27回目	ノンダイアトニックコードについて。モーダルインターチェンジ、セカンダリドミナントなど。
【後期】 28～31回目	キーセンター及び転調について。
【後期】 32～35回目	その他のスケール、応用。考え方、トレーニング。
【後期】 36～37回目	コードとそれに関連したスケールについて。 ■後期試験：課題曲の演奏にて「技量 / 理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技量 / 理解度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	理論を実際の演奏に活かすために、楽器で確認し応用できる力を身につけることを目的としています。 この技術を習得すると、ただ単に楽曲をコピーするだけでなく、自分でアレンジできるようになります。 また、オリジナル楽曲の制作にも必ず役に立つはずですよ。
備考	使用教科書「フレットボード1」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベーススタイル I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「歌唱/演奏実技」の指導を行う。				
授業概要					
様々な音楽スタイル(JAZZ/BLUES/POP/R&B/FUNK/HR等)に含まれるリズム感、グルーブ感、抑揚などを自然に体で表現できるように自らの演奏へ取り込んでいきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルのベースプレイ、特にリズムの特徴などにフォーカスし学習する。代表的なアーティスト、楽曲を知り、題材のフレーズを実際に演奏し自身のスキルアップに繋げ、代表的なアーティスト、楽曲を知ることにより各音楽ジャンルの特徴を理解する。 ・各ジャンルのノリやグルーブを表現できる演奏を目指す。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Deep Purple等)【Punk】ジャンルの考察とフレーズ練習(Sex Pistols等)【Alternative/Grunge】ジャンルの考察とフレーズ練習(Nirvana等)
【前期】 5～8回目	【Alternative/Mixture Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Red Hot Chili Peppers等)【Hard Rock】ジャンルの考察とフレーズ練習(Guns N' Roses等)【Metal】ジャンルの考察とフレーズ練習(Metallica等)【Funk】ジャンルの考察とフレーズ練習(James Brown等)
【前期】 9～12回目	【Funk2】ジャンルの考察とフレーズ練習(Wild Cherry等)【Blues】ジャンルの考察とフレーズ練習(B.B.King等)
【前期】 13～16回目	テストレビュー/前期テスト/【Jazz】ジャズブルース進行
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「演奏力 / 知識力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【Ska】ジャンルの考察とフレーズ練習(The Skatalites等)【Raggae】ジャンルの考察とフレーズ練習(Bob Marley等)【Jazz】ジャンルの考察とフレーズ練習(sunny等)
【後期】 24～27回目	【Bossa Nova】ジャンルの考察とフレーズ練習(イパネマの娘等)【Soul】ジャンルの考察とフレーズ練習(Marvin Gaye等)
【後期】 28～31回目	【Smooth Jazz】ジャンルの考察とフレーズ練習(Paul Jackson Jr.等)【Jazz/Fusion】ジャンルの考察とフレーズ練習(Larry Carlton等) / 後期まとめ
【後期】 32～35回目	【Jazz/Fusion】ジャンルの考察とフレーズ練習(Pat Metheny等) / テストレビュー/後期テスト
【後期】 36～37回目	スライドバー/年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「演奏力 / 知識力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力 / 知識力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業は、様々なジャンルの音楽に触れ実際に演奏することで、自身の演奏・音楽的知識、可能性の幅をどんどん広げていきます。スキルアップはもちろん、今まで知らなかったジャンルを身につけることで自身の活動での演奏、作曲、アレンジにも役立つでしょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムリーディングワークアウト I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・JUON, MACO, TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello, The Baker Brothers, US3等様々なアーティストとの共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術・アンサンブル力」の指導を行う 				
授業概要					
音楽の三大要素の1つである「リズム」を理解し、小節や運指の概念を理解する。またリズムに関する記号や音符を理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な音楽のリズム、グループに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになる。 ・バンドでのテンポキープやサウンドコントロールに磨きをかける。 ・誰と演奏してもぶれないリズム、グループを身につける。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Unit1～4 カウント、ブルースの練習、リハーサルマーク、8ビートリズムパターン確認、ダイナミクス、シンコペーション。
【前期】 5～8回目	Unit5～8 Pick up Note、スタート練習、キュー確認、マイナーブルース、様々なリズム遊び。
【前期】 9～12回目	Unit9～12 セクション、リハーサルマーク、リピートマーク、カッコ、ダカーポ、ハーフタイム。
【前期】 13～16回目	Unit13～16 ロックシャッフル、スウィングシャッフル、ウォーキングベースに挑戦する。
【前期】 17～19回目	【前期まとめ】前期の内容を復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Unit17～19 12/8フィール系リズム、ダイナミクスの表現、Funkスタイル演奏
【後期】 24～27回目	Unit20～23 16ビートのブラックフィール、ラテンフィール、Funk演奏
【後期】 28～31回目	Unit24～27 ファンキーなR&Bスタイル、はねた16ビートパターン、レゲエ、スカ演奏
【後期】 32～35回目	Unit28～30ボサノヴァ、セカンドライン、現場をイメージして演奏
【後期】 36～37回目	【後期まとめ】後期の内容を復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / サウンド / テクニック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / サウンド / テクニック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世界の様々な音楽のリズム、グループに着目し、バンド単位でこれらのスタイルをマスターできるようになりましょう。 バンドのテンポキープやサウンドコントロールにも磨きをかけるよう心がけましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習 I / ライブパフォーマンス実習 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ベース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力」の指導を行う。				
授業概要					
人前でライブやコンサートをするために必要な奏法・表現力を高め、ステージマンとしての力をつけます。アンサンブルに必要な知識と技術、また優れたライブパフォーマンスの実現を目指す授業です。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・バンド全体のサウンドを意識した演奏を習得する。 ・課題曲に内包されているテクニックやリズムグループパターンを自らのうちに着実に取り込み表現できるようにする。 ・ショーとして成り立たせるためのパフォーマンスができるようになる。 ・学んだこと、考えたことを人前で披露できる力を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【課題曲①】8ビートのルート弾きの音の粒を揃える。ユニゾンフレーズの際他のメンバーと息を合わせるために、自分以外の音を聞く事を心がける。2、4拍目に合わせて体を揺らす。
【前期】 9～16回目	【課題曲②】シャッフルのリズムに慣れる。ドラムの音をしっかりと聴いて音を切るタイミングを考える。Aメロ、Bメロ、サビの音符の長さの違いに気をつける。エンディングの長さを見失わないように、ナチュラルサイクルを意識する。
【前期】 17～24回目	【課題曲③】16ビートのフレーズは勢いで弾くのではなく、しっかり弦を揺らす事を意識する。最後のサビのritするところはメンバーの呼吸を読み取り演奏する。アウトロのベースが目立つフレーズの箇所ではどうアピールするか考える。
【前期】 25～32回目	【課題曲④】Aメロのベースラインはボーカルに寄り添うように、決して自分勝手なプレイにならないように心がける。セクション毎の場面展開をハッキリとさせ、曲にダイナミクスを付ける。演奏中の視線、体の動きなどステージングを意識する。
【前期】 33～38回目	前期テストと復習 ■前期試験：課題曲の演奏にて「リズム / ダイナミクス / ステージング」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	【課題曲⑤】セクション毎に変わるリズムの変化に気をつける。ブレイクの部分の音の長さ又を意識して演奏する。又、視覚的効果も取り入れてみる。
【後期】 47～54回目	【課題曲⑥】ゆったりとしたテンポの楽曲だが、細かいリズムを体感して演奏する。3連のフレーズはピッキングする指が交互になるので、あらかじめ確認してもたつかないようにする。
【後期】 55～62回目	【課題曲⑦】Bメロのスラップフレーズは何拍目にブルが来ているのかしっかり把握しておく。エンディングはロストしやすい構成になっているので、小説数を数えるだけではなくメロディラインを歌えるくらい覚える。ベースソロ時のパフォーマンスを考える。
【後期】 63～70回目	【課題曲⑧】A、Bメロのダークさに打って変ってサビでは一転明るい雰囲気になる。その時のダイナミクスや、その他の表現方法に注意して演奏する。ユニゾンフレーズは自分と相手の呼吸を合わせて演奏する。
【後期】 71～74回目	後期テストと復習 ■後期試験：課題曲の演奏にて「リズム / ダイナミクス / ステージング」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / ダイナミクス / ステージング」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	上手に演奏するという事は、表現したいことを再現するために必要な要素ですが、この授業ではその他の重要な要素でもある「ステージング」のことも学んでいきます。ライブを見に来てくれたお客さんに満足してもらうにはどうしたらいいか常に考える思考回路を身につけましょう。
備考	